同友会三つの目的

「よい会社、よい経営者、よい経営環境をめざす」

③同友会は、他の中小企業団体とも提携して、中小企業をとりまく社会・経済・政治的な環境を改善し、中小企業の経営を守り安定させ、日本経済の自主的・平和的な繁栄をめざします。

おきなわ同友会しんぶん

ニライ みらい

2017年（平成29年）
３月号
No. 348
発行：沖縄県中小企業家同友会
編集：広報委員会

〒901-0152
沖縄県那覇市字小禄1831番地1　沖縄産業支援センター603号
☎098-859-6205㈹　FAX.098-859-6208
http://www.okinawa.doyu.jp
E-mail:doyu@okinawa.doyu.jp

21世紀に輝く No.161

いざゆかん！ 我等が邦は五大州

㈱沖縄浄管センター　代表取締役　座間味（ざまみ） 唯康（ただやす） 氏

二〇一七年二月十日に合資会社から組織変更したばかりの株式会社沖縄浄管センター座間味唯康社長にお話を伺いました。今年三十八年目の沖縄浄管センターは、公共下水道施設のメンテナンス・管理業務を従業員二十名で三六五日・二十四時間体制で勤しんでいます。

全国、アジアを飛び回ってお忙しい座間味社長に本取材のために時間を割いて頂いたのは、六次産業に関する講演会へ出席する途中の那覇市内のカフェでのランチタイムでした。

金武町にある像

座間味社長は、教師だったご両親の勤務地、勝連町の津堅島（現うるま市）で生まれ、その後も転勤に合わせて幼少期をコザ市（現沖縄市）、中・高校生時代を那覇市で過ごされました。そんな座間味社長の原風景は、沖縄移民の父、當山久三の金武町にある像とその言葉「いざゆかん…」と未来志向です。学生時代は、早く沖縄から出たくて仕方なかったそうです。世界中を観て、旅したく、大学は航空宇宙学科を専攻されました。卒業後は、川崎の日本特殊技術㈱へ入社し石油コンビナート建設工事、メンテナンス業務で全国の仕事を経験します。（この最初の会社で、沖縄出身の宮城氏との出会いが今の会社との縁となります）その後、仲間と非破壊検査業務の会社を設立しますが、沖縄に呼び戻され一九九〇年に現会社を引き継ぐことになりました。

同友会に惚れたワケ

一九九一年に入会。経営研究集会での学びは目からウロコ。また経営指針作成講座を受講することで社長業とはどういうものかを学びました。先輩からいきなり会社を継いだので、講座を受講したことは昨日のことのように覚えています。「これに惚れたから同友会に惚れた」と話す座間味社長は、政策委員長を九年間務められ、そのことが仕事やプライベート、その他の活動にも幅を広げていました。

プライベートについて

会社で一緒に働いている妻の光江さんと、今も修学旅行生へ平和の講演を行うほど元気な九十二歳になられる母、文子さんと三人家族。趣味は、クラシック音楽の鑑賞とカラオケ。「松山千春が好きでマイクを持ったら放しません」と。座間味社長は、横浜交響楽団で十余年、沖縄交響楽団でもヴァイオリンを演奏されていたそうです。その他、JICAの中南米連携調査団や沖縄グローバル人材育成支援事業、カンボジア沖縄友好の会、特に最近は毎年カンボジアの里子訪問の旅に参加されているそうです。

ユーモア溢れるお話しは、全て海外・地球規模。そんな座間味社長に取材した私となぜか弊社スタッフも美味しいランチをご馳走して頂きました。ありがとうございました。（ハタワークス・大城朝野）

《会社概要》

㈱沖縄浄管センター
代表取締役　座間味（ざまみ） 唯康（ただやす） 氏
〈中部支部〉
所在地／沖縄市八重島2-13-9
ＴＥＬ／098-939-3915
事業内容／①上水道、公共下水道のメンテナンス及び補修工事 ②管内TVカメラ調査業務 ③貯水槽・エアコンの洗浄業務
ＵＲＬ／http://www.jokan.jp

2017年 合同入社式＆新入社員研修会のご案内

と　き	４月４日（火）10:00～５日（水）17:00
ところ	ユインチホテル南城
参加費	お一人20,000円（付添者：10,000円）
内　容	合同入社式 社会人の心構え ビジネスマナー コミュニケーションゲーム （２日目）講義「先輩からの体験報告」 ビデオ研修 修了式 交流会

第31回 定時総会

と　き	４月26日（水）16:00～20:30
ところ	パシフィックホテル沖縄
内　容	第Ⅰ部「総会議事」（16:00～17:30） 第Ⅱ部「記念講演」（17:45～19:00） 第Ⅲ部「懇親パーティー」（19:15～20:30） 会費：５,０００円 （総会議事・記念講演のみは無料）

※詳細が決まり次第、ご案内いたしますので、スケジュールに入れておいてください。

茶論

経営者のほとんどが、それぞれ愛読書をもっている。それは歴史上の人物だったり、同じ経営に携わる先達の書いた自叙伝だったりする▼そのような現状の中、意外と漫画にヒントを得た経営者がいたのに驚かされた。東大発・ベンチャー企業の旗手、ミドリムシ企業を生んだユーグレナ社長の出雲充社長である▼東大在学中にバングラデッシュで食料問題に遭遇、銀行勤務を経て二〇〇五年にユーグレナ社を設立、ミドリムシ大量培養に成功した▼培養先に我が沖縄の地を選び、現在、石垣島で培養に携わっている点でも好感がもてる▼彼は「こちら葛飾区亀有公園前派出所」全二〇〇巻そろえているらしい、五〇～一〇〇巻に出てくる両さんが急にベンチャー企業や駄菓子屋をプロモートするのに惹かれたらしい▼さらにミドリムシのヒントが「ドラゴンボール」の仙豆にあったそうだ、一粒食べれば十日間空腹にならない魔法の豆探しの行き着く先に五十九種類の栄養素が詰まったミドリムシがあったという▼このミドリムシ商品、私も愛飲している、独特のニオイがあるが、結構体調がよい▼勿論、漫画だけでなく、難局を頑張りぬいたヤマト運輸の小倉昌男社長や三愛グループ創業者の市村清社長の著書も読んでおられるのだが。

２月県例会
同友会で学ぶ価値を感じることができた！

米田 順哉 氏

二月九日、沖縄産業支援センターにて二月県例会が一〇八名の参加で開催されました。家族支援フォーラム・理事長の米田順哉氏（愛媛同友会）を講師に「人を生かす経営の総合実践を貫いたからこそ見えてきた展望」をテーマに講演していただきました。

●経営の危機は突然に

両親が他界した後、銀行を退職して愛媛に帰郷。社会福祉法人を設立。当時は場当たり的な事業拡大と計画性のない採用で、三年間赤字が続いていました。しかし困ったときはいつでも銀行から資金を引っ張れるという自信がありました。ところが現場責任者の二名が理念の考え方に違いが出たことで辞め、現場が混乱。

理念・方針・計画を社員と共有し、ＰＤＣＡを回すことは同友会で学んでいたが実践されておらず風通しも悪くなっていた時に、①絶対に潰さない。現場のことは一人ひとりが考えて他人に判断を任せない　②経営理念を確立することの二つを決意。開かれた議論をしようと二カ月かけて理念について徹底的に議論し、組織改革に取り組みました。

次に経営計画を職員と作るために、職員全員と面談を実施。自分たちで作った経営指針を実感して欲しくて、職員から上がってきた事業計画は、修正を掛けずに経営指針に載せました。先輩からカツを入れられ、自分だけが悩んでいるのではないことがわかり、同友会で学ぶ価値を感じることができました。

●メインバンク変更

メインバンク変更の理由は、資金繰りの大変さやできたばかりの経営指針の話を愛媛銀行の支店長と話をし、後日、支店長から取引させて欲しいと話がありました。メインバンクの変更は大変な決断ですが、実施することで支払いが軽減。これまで、銀行取引は資産全てを担保にしなければならなかったので、決算が確定したら担保を免除して欲しいと申し出ました。

愛媛銀行に年二回経営指針の報告をし、経営をガラス張りにしている。そうすることで金融機関との信頼関係に繋がる。銀行から金を引き出すのが経営者の手腕ではなく、厳しい時こそやりくりして会社を存続させることが大切とまとめました。

第４回経営サポート学習会
コミュニケーションを高め、社員と接したい

大城 朝野 氏

二月十三日、沖縄産業支援センターにて二十三名の参加で第四回経営サポート学習会が開催されました。今回はハタワークス・代表の大城朝野氏を講師に就業規則とハラスメントの内容で、社員とのトラブルを実際の企業の事例も含めながら説明がありました。

講義で「パワハラ」は外来語ではなく日本でつくられた造語だと聞いた時はショックを受けました。会社の中で日常的に暴力的な言葉が飛び交っていたのだと思います。上司と部下の関係で、上司が発する言葉には愛ある指導があり、注意があって、ねぎらいの言葉があると思います。でも受け取る側の解釈により叱咤激励の言葉がパワハラにも聞こえる時もあると教えられた時に、自分自身の言葉には上から目線のパワハラで、相手の事を本気で思い感情的に怒鳴っていたのではと反省させられました。

また、権利ばかりを主張する社員も増えているので就業規則の整備も早めにし、もしもの時に備えたいと思いました。しかし、日常からコミュニケーションを高め、社員さんと接していきたいと考えさせられる学習会でした。

（㈱機工　田場英行）

碧の会＆北部支部 合同例会
後悔がないよう、自分が思った行動を！

下田 美智代 氏

二月二十一日、ホテルゆがふいんおきなわで碧の会＆北部支部合同例会が三十名の参加で開催されました。

座長が「ミス同友会」と、皆が納得してしまう紹介をされた報告者は㈱共栄環境の下田美智代社長。創業者である父に溺愛されて育った幼少時代。女性は結婚や出産によって人生が大きく変わること、それらを経験しながら仕事との向き合い方。ご兄弟の家族も含めた家族経営の中で湧き出る葛藤。同友会での学びの実践を通して強い企業を作り上げた報告がありました。

女系の家族を持った父親から、経営は女性がした方がいいという思いをずっと聞き続けて来たといいます。まるでそのことが決まっていたかのように、ご主人と経営する飲食業から、父親の会社を継承する道を選択しました。人生の岐路に立った時、後悔や迷いがないように自分が思った行動を迷いなく選択する下田さん。芯がスッと通る素敵な女性だと感じました。（トマトプリント・知念由紀）

うりずん例会
青全交in沖縄に向けて頑張っています！

二月二十三日、沖縄産業支援センターにて、うりずん部会例会が二十名の参加で開催されました。

トータルオフィスベスト㈱・社長の金子智和氏が「突然の創業、経営指針との出会い」をテーマに報告されました。

大好きな鉄道に携わる仕事をし、順風満帆な人生でしたが、諸事情で早期退職し沖縄へ移住することに。退職する前に、生活に困らないようにと計画を立て移住しますが上手くいかず、バイト生活を経て就職しました。しかしその企業の営業ノルマに耐えられず独立。一人で苦労している時に同友会に入会し、経営指針作成講座を受講し、「企業の存在価値や経営者とは何かについて考えさせられた」と金子さん。報告の後は、グループ討論でさらに学びを深めました。

うりずんでは二〇一八年十一月に開催される青年経営者全国交流会in沖縄に向けて準備をすすめています。「うりずん」の部会例会にぜひご参加ください!!

同友会大学
第９期「大学院」スタート！

琉球の歴史を学ぶ受講生

二月十一日、沖縄産業支援センターにて、同友会大学第九期「大学院」が開講され、十一名の受講生が参加しました。

本講義では、日本や世界史との関わりの中で、沖縄に主体をおきながらも、内向きな歴史観に陥らないよう、琉球・沖縄史からの学びを深めました。

今年は、昨年好評だった沖縄大学客員教授の新城俊昭先生を、再び講師にお迎えしました。全五講の大学院は「琉球・沖縄史か何を学ぶか」のテーマでした。次年度も開催しますので、ぜひ受講して学んでみませんか？次回のテーマは乞うご期待！

社労士・コンサルタント
青山喜佐子の
知って得する
シリーズ133

プレミアムフライデーはたのしい時間を

PREMIUM FRIDAY

プレミアムフライデー始まる（二〇一七年二月）。

プレミアムフライデーは、月末金曜日を早めに仕事を終了して退社するというものです。これまでのイベントと違って、毎月行うのが特長で、「ハナ金」を一段とアップさせたイメージ。雇用の面の時間外削減と、消費面の底上げを狙っています。単なる消費喚起策ではなく、「みんなで楽しいことをしようよ」と生活目線の取り組みとして経済産業省と経済界が呼びかけたもの。

企業では午後三時に退社させるために、生産性向上とムダを排除した業務効率の計画が課題です。具体的には、①偶数月の最終金曜日の業務開始を一時間早めて半日を午後休とする。②全員フレックスタイムを導入してプレミアムフライデーは早期退社を推奨するなど、自社にあったやり方を試行錯誤の段階です。

社員のメリットとして、ゆとり時間を買い物、スポーツや好きなことをすることで自分磨きができます。

早速、旅行社やサービス業では、週末旅行やお得グルメプランなど、魅力的な企画を準備中。

プレミアムフライデーの導入で国内の働き方改革だけでなく、将来は海外観光客の誘致も狙っています。

月一回の早期退社が負担にならないよう、社内の話し合いも必要です。一歩踏み出したプレミアムフライデーを始めてみましょう。

〈プロフィール〉
社会保険労務士
日本産業カウンセラー
大学非常勤講師
市町村行政改革推進委員など
オフィスあるふぁ
TEL/098-870-6686

青山喜佐子（あおやまきさこ）
（オフィスあるふぁ代表）

1250社達成に向け 全力投球！

～今年創立30周年を迎えます～

沖縄同友会は一九八七年十月三日に「よい会社」「よい経営者」「よい経営環境」をつくる目的として六〇名の中小企業家で発足しました。そして今年は創立三十周年を迎える現在一一五〇社の会勢です。現在、同友会を取り巻く環境が大きく変化しており、会に対する期待も高まっており、まさに「数は力」です。一月から「仲間づくり躍進月間・春の陣」として各支部で「同友会を知る会（新会員オリエンテーション）」を開催し、同友会の魅力を発信しました。

北部支部

二月十四日、ＩＺＵＭＯにて新会員オリエンテーションが二十一名の参加で開催されました。宮城勇副代表理事より「同友会の歴史と理念」、北部支部組織委員の新城拓馬＆町田浩美さんによる紙芝居「同友会ってどういう会？」の寸劇バージョンが披露されるなど、楽しい新会員オリエンテーションでした。

その後は、グループ討論で同友会をどのように活用していけば良いかについて意見交換がされ、会場を移して懇親会で親睦を深めました。

中部支部

二月二日、沖縄市社会福祉センターにて今年度入会された方々を中心にまだ同友会バッヂを受け取っていない方含め、新入会オリエンテーションを四十一名の参加で開催しました。その中に、入会を検討中の方もいて、他支部の役員の参加もあり同友会の魅力を伝えることができました。また今回は、沖縄海邦銀行と包括連携協定を結んだこともあり、中部地区の沖縄海邦銀行各支店長の皆さんが、交流を兼ねて一緒に同友会の歴史と理念・目的、同友会の魅力を、映像と與崎文美中部支部副支部長の紙芝居で学びました。

その後、㈱スピア・社長の崎原盛子氏より「経営指針で学び・成長できること」を報告。参加された方々に大変良い学びの場となりました。これからも、多くの会員の方が同友会活動に積極的に参加し、仲間をつくり、共に成長していきたいです。（有）仲松ミート・仲本和美）

報告の崎原氏

浦西支部

二月二十三日、モモズカフェにて浦西支部大名刺交換会が、同友会の魅力を伝えたいゲストを含め三十五名の参加で開催されました。

同友会の魅力を伝える新城代表理事

星真理浦西支部副幹事長より紙芝居「同友会ってどうゆう会」の説明があり、新城恵子代表理事より、沖縄同友会と中小企業家同友会全国協議会（略：中同協）の歴史にも触れながら「同友会の歴史と理念」について語られました。

会員体験報告では、㈱いしかわ文明堂・社長の石川京美氏より、同友会に入会して、経営指針作成講座を通して「労使見解」を学べたことがとてもためになったと熱く語られました。

その後の名刺交換会では、お互いの事業内容などの紹介しながら交流を深めました。

那覇支部

二月十四日、沖縄産業支援センターにて新会員オリエンテーションが二十八名の参加で開催されました。

宮城光秀副代表理事より「同友会の歴史と理念」についての説明がなされ、「同友会ってどういい会？」ではトータルオフィスベスト㈱・社長の金子智和氏より、最初の就職先の電車の車掌から独立するまでの経過と同友会と出会い、活動していく中で「会社の存在意義」など学んだことについての報告がされ、その後、専門委員会や部会の紹介で同友会の魅力を伝えることができました。グループ討論では「同友会をどう活用しますか？」のテーマで意見交換し、自社の経営にとっての活用法をイメージできました。

中小企業の組織づくり

㈱経営戦略オフィス
代表取締役　井海宏通
TEL：098―857―3278

待遇改善できる力をつけよう

人材不足に悩む企業が増えています。ある意味で、「社員を大切にする」という掛け声が本当だったのか、それとも口先だけだったのか、が問われている訳ですが、働く場として魅力のない会社は淘汰される時代になっています。

人材を集めるには、やはり一定以上の給与と福利厚生（特に休みの取りやすさ）が必要です。勿論、新入社員だけ待遇を良くする訳には行きませんので、既存社員も含めての底上げが必要になります。

そして、それを実施するには労働生産性の向上が不可欠です。現場レベルの改善は必要ですが、それだけでは不十分です。設備やシステムへの一定の投資も必要です。経営資源は「ヒト・モノ・カネ」ですが、「ヒト・カネ」になっていないでしょうか。「モノ」を軽視し、マンパワーに頼り過ぎると効率的に稼ぐ仕組みは作れません。

また、価格設定や原価管理も重要です。ここが弱いと「バタバタ貧乏」になりやすく、利益の少なさが待遇の悪さに直結します。

集客や営業は掛け声だけでは成果はでません。人材確保も同じです。相応の経営努力が求められます。

わが社のポリシー　第265回

宮沢財務管理オフィス㈱
代表取締役　宮沢賢（みやざわ けん）氏

宮沢賢氏

コンサルの金八先生と言われる宮沢社長は、お話を聞くほどに熱い思いが伝わってくる方でした。二十年の銀行経験を経て、六年間中小企業診断士事務所でコンサルティングを実践して二〇一二年に独立してからは、「中小企業を助けたい！」という信念で、資金繰りセミナーも精力的にこなしています。

お客様には徹底してキャッシュフローを教えることから始めます。「お金の相談は誰にも言えないでしょう。救いたい。困っている経営者を助けたい」と宮沢さん。現状、そして通帳の残高を確認します。来月には増やしたいですよね。そこをしっかりと聞いてあげると行動が変わります。

リアルにお客様の声を拾う、そして改善する。経営の先を見えることを教えたい。それにはまず、信頼関係が大切です。だから私は現場主義で、いつでも現場に向かいます。経営の意義とは、人と人との結びつきなのです。ここを大事に出来れば、必ず経営は上向きます。結びつきが出来ないと経営者は、よい経営が出来ないです。そしてよい経営者になるには順序があります。まず、自分を大切にすることです。次に社員・家族を大切にする。それが出来て初めて、お客様を大切に出来るのだと思います。

経営には人と人との結びつきが大切！

コンサルタントとは？人は誰でも乗り越える力を持っています。私の役目は、少しだけ手助けをするだけです。「元々持っている力がある。だから大丈夫！」と心に残る言葉をたくさん聞かせていただきました。

オフィスは九時～十七時ですが、いつも色々な人が集まって来るとか。皆さんも立ち寄ってみませんか？（㈱みやび　小林ゆり江）

宮沢財務管理オフィス㈱
代表取締役　宮沢賢（みやざわ けん）氏
〈那覇支部〉
所在地／那覇市古島1-28-5
ＴＥＬ／070-5530-2812
事業内容／経営コンサルタント
ＵＲＬ／http://www.officemiyazawa.com

「ひとりが一人の紹介を」運動に協力を!!

今年度は、第６次ビジョンの初年度で、「一一五〇社を達成」と役員の皆さんに協力いただいています。また、全国同友会の県別組織率においても、一位の香川県にあとわずかに迫る勢いです。組織率全国一位で創立三〇周年記念事業を迎えるために、会員の皆さんにもぜひ「ひとりが一人の紹介を」運動にぜひご協力ください！

「畑の肉」大豆で、健康管理を!!

川上勝敏 氏

今回は、川上食品三代目に就任した川上勝敏氏、自称「島どうふ屋」です。豆腐の原料の大豆は「畑の肉」といわれており、その大豆たんぱく質の消化吸収率は、納豆で九一％、豆腐では九五％もあり、とても効率のよい食品といえます。そのほかにも・総コレステロールを低下させる大豆レシチン・ビフィズス菌を増殖させる作用のあるオリゴ糖・抗酸化作用、またコレステロールなど血中脂質の低下が期待できる大豆サポニン・骨粗しょう症の予防や更年期の不調を改善するといわれるイソフラボンといった多くの機能性物質が含まれています。

ソフト豆腐とは?!

川上食品で作っている豆腐は「木綿豆腐」「絹ごし豆腐」「ゆしどうふ」「厚揚げ」そして沖縄ではほとんど作られていませんが、鍋料理や麻婆豆腐にとてもよく合う「ソフト豆腐」（硬さが絹ごしと木綿の中間くらい）を販売しています。

販路は店頭販売、病院の厨房（かなりチェックが厳しい）、指定材料を使って製造しているボブさんの豆腐、リゾートホテル、老舗中華料理店です。

豆腐作りは日々状況が変わるので手作業で作りながら調整しておいしく作りあげています。

沖縄の豆腐作りの技術は高いものがあるそうです。

商品開発で販路拡大

第一工場、第二工場で商品を作り、新商品開発にも取り組んでいます。今後の取り組みとして自家製のジーマーミー豆腐、学校給食のデザートの開発を手掛け、市場への販路拡大を目指しています。健康に良く、おいしい豆腐をぜひ食卓へどうぞ！（㈲ゆうな商事 太田一）

おいしい豆腐たち

川上食品
〈中部支部〉
代表者　川上（かわかみ） 勝敏（かつとし） 氏
所在地／沖縄市字美里 2-6-39
ＴＥＬ／098-938-2538
事業内容／豆腐製造業
ＵＲＬ／http://www.kawakamishokuhin.jp

第43期経営指針作成講座修了式
宮古＆八重山支部でもセミナー開催

二月二十四日、第四十三期経営指針作成講座修了式が沖縄産業支援センターにて三十二名の参加で開催されました。

今回は十六社二十一名の受講生で、修了式には十七名の受講生が講座で学んだことの発表（経営理念・十年ビジョン・経営方針）を行いました。一人一人の発表に講義をサポートした経営委員やサポーターからのコメントがあり、今後の経営指針づくりに繋げていける内容となりました。

今回は、宮古＆八重山支部でも経営指針作成セミナーが開催されました。

受講生からは、「十年ビジョンを作成することで、やることが明確になった」や「経営者としての想い、役割が明確になった。大金持ちになって、全社員で海外旅行に行きたい」などの声が寄せられました。

六月からスタートする第四十四期の講座、募集中です！

八重山で開催されたセミナー

守礼ネット会現地視察ツアー in 宮古島
宮古島の魅力を堪能！

二月四日～五日の日程で観光関連部会「守礼ネット会」宮古島視察ツアーが行われました。初日は、クルージングで昼食を済ませ、宮古支部会員の企業を訪問。訪問先は、㈱伊山産業（根間公男・社長）の宮古島老人ホーム、㈱パラダイスプラン（西里長治・社長）の雪塩ミュージアム、アイワ家具（砂川和江・社長）の三社を視察しました。企業訪問後は、宮古支部会員との懇親会を行い、予定時刻を超えての和やかな交流ができました。

二日目は、伊良部島のにんにく農園を視察し、㈲楽園の果実（砂川智子社長）で昼食後、島の駅を視察しました。

今回の視察ツアーは守礼ネット会「ま～さむんロード」の四回目として、宮古支部の役員や会員の皆さんとも交流ができ、宮古の魅力を知ることができたツアーとなりました。

宮古支部会員と交流

沖縄同友会会員限定
沖縄海邦銀行と包括連携協定で金利優遇商品が誕生！

沖縄県中小企業家同友会は2016年10月18日に、沖縄海邦銀行と包括連携協定を締結しました。それに伴い、沖縄同友会会員の金融円滑化を図れるよう、下記のとおり、沖縄同友会会員限定の金利優遇商品を開発いたしました。詳細や手続きに関しては、沖縄同友会事務局までご連絡ください。

1．商品趣旨・特徴
①沖縄県中小企業家同友会会員が気軽に金融機関に相談に行けるきっかけとする。
②事業性評価に特化する。企業のスコアリング（業歴や業績）、担保に過度に依存しない。
③経営指針作成講座の受講をはじめ、共同求人、社員教育活動の活用促進につなげる
④無担保・無保証・スピード決済

2．商品概要
＜ご利用いただける方＞
①６カ月以上継続して沖縄県中小企業家同友会の会員である先
②所定の会費を遅滞なく納入している先
③沖縄県中小企業家同友会の融資あっせんに適当であると認める先
＜使いみち＞
事業に必要な運転資金および設備資金等
＜融資額＞
（創業３年未満）100 万円～ 500 万円以内
（創業３年以上）100 万円～ 1,000 万円以内
＜融資期間＞
運転資金　10 年以内　　設備資金　15 年以内
＜融資利率＞（変動金利）
融資期間５年以内　2.900％　融資期間５年超　3.300％

＜融資利率優遇＞
沖縄県中小企業家同友会が主催する下記の講座等の受講を修了した同友会会員、又は受講者等が同友会会員企業の社員の場合、上記融資利率から 0.20％～0.30％優遇されます。
①経営指針作成講座修了：優遇 0.30％
②社長・社員共育塾受講：優遇 0.20％
③新人フォローアップ研修会受講：優遇 0.20％
④共同求人活動参加（合同企業説明会）：優遇 0.20％
※ただし、①～④が重複して該当する場合でも優遇の加算はできず、①と②～④が重複して該当する場合は 0.30％優遇、②～④が重複して該当する場合は 0.20％優遇とする。
※①については修了時期は問わない。②～④については直近３年以内の受講に限る
＜融資形式＞　証書貸付
＜返済方式＞　元金均等月賦返済、元利均等月賦返済
＜担保＞　不要
＜保証人＞
①法人：代表者等経営権を有する方（社長、会長等）
②個人事業主：原則不要
但し、経営者保証に関するガイドラインに合致すれば経営者保証を外すことができます。※銀行審査の結果、ご希望に添えない場合もございます。

読者の声

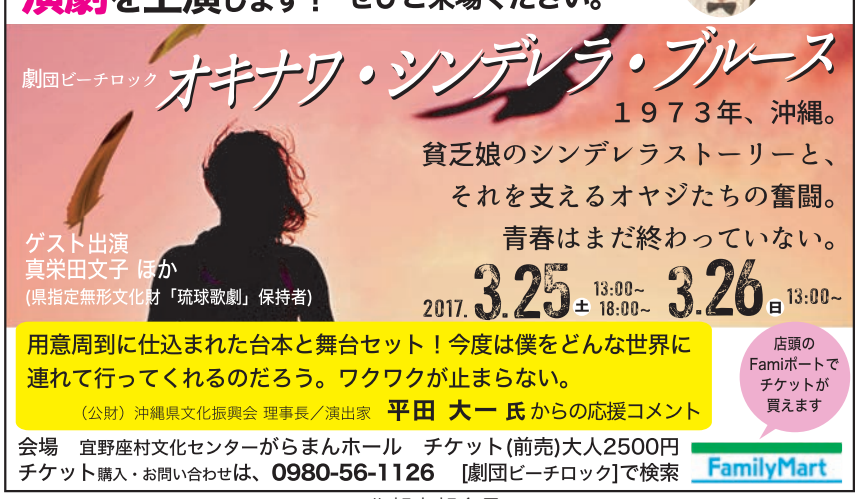
見た目も内容も多彩なニライみらい。毎月の活動報告に加え、取材記事やコラムも充実していて毎月楽しみにしています。特に「21世紀に輝く」は、紙面での出会いにまたひと味違う良さを感じています。

都合がつかず会活動にあまり参加できないときでも、「ニライみらい」は同友会活動と会員を繋いでくれる貴重な存在です。

これからも同友会の活気と熱を伝える記事を楽しみにしています。

（開法律事務所 望月弘子）

北部支部の(株)アイランド・プロジェクトの新井です。
演劇を上演します！　ぜひご来場ください。



＜北部支部会員＞

＜那覇支部会員＞